せと市議会だより

NO. 121
令和8年9月定例会
2026 11月号

特集

令和7年度決算審査 P2-3

財政の状況や税金の使われ方について審査しました



瀬戸川にかかる橋シリーズ❷

窯神橋 関連記事 P11



令和7年度決算審査 財政の状況や税金の使われ方 について審査しました

審査のようすは、議会録画映像などでご覧になれます

予算決算委員会全体会

決算の総括、財政の健全性について



Q 財政調整基金残高は、標準財政規模の15%を上回る積立額約66.7億円としているが、市はどのような考えで保有をしているのか伺う。

A 財政調整基金残高が増加した理由は、3月補正予算で生じた財源や、前年度決算剰余金の一部をあわせた約13億円を積立てた結果によるものである。

Q 基準財政需要額が増額している背景について、交付税台帳や単位費用などにどのような変化が生じているのか伺う。

A 近年、臨時経済対策費など新たな算定項目が追加されるとともに、単位費用の増加によって、基準財政需要額全体が増加している。

総務生活分科会

市税の収納率向上

事業内容▶ 金融機関への預金調査のオンライン化や高額滞納者の滞納整理への注力など事務の効率化・迅速化に取り組んだことにより、市税の収納率を向上させることができた。

議会の視点 前年度との市税収納率比較と現年度課税分の向上要因を確認する。

Q 令和7年度における市税の収納率について、令和6年度と比較した際の評価を伺う。特に、現年度課税分が0.21ポイント向上した要因についても伺う。

A 令和7年度の現年度課税分の収納率は99.29%、令和6年度は99.08%で、0.21ポイント向上した。
向上した要因として、預金調査のオンライン化、加えて過年度分を中心とした高額滞納者への取り組みが収納率向上につながったと考えている。

総務生活分科会

ごみ減量促進

事業内容▶ 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量を把握し、資源物の減量、食品ロス削減、リユースの推進により、資源物以外のごみ減量を促す。

議会の視点 家庭系ごみの削減幅と、その要因および今後の減量策を確認する。

Q 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量は、令和6年度の499gから令和7年度は495gへ4g減少した。削減幅が鈍化しているように見えるが、その要因について市の分析を伺う。

A 本市のごみ減量を牽引しているのは資源物を分別したことによる減量で、民間回収施設の活用や生活様式の変化などが要因と考えられる。資源物以外は食品ロス削減やリユースの推進が必要と考えている。

総務生活分科会

女性の管理職登用

事業内容▶ 女性管理職の登用を進め、部長級・課長級職員に占める女性職員の割合について、行動計画に基づく目標の達成を目指す。

議会の視点 女性管理職の登用目標と実績および計画の到達状況を確認する。

Q 令和7年度における女性管理職の登用について、部長級および課長級の女性職員割合に、どのような目標を掲げていたのか伺う。

A 部長級および課長級職員に占める女性職員の割合について、部長級職員は14%、課長級職員は22%を目標としていた。

厚生文教分科会

高齢者移動支援推進

事業内容▶ 高齢者の生きがいづくりおよび介護予防と連動した移動支援のあり方を検討し、フレイル予防のための外出機会の創出に取り組む。

議会の視点 参加者の広がりが課題と考える。移動支援をどのように推進していくか。

Q 買い物ツアーなどが高齢者のフレイル予防につながったと考える。より広くこの事業を活用していただくため、地域住民が主体となる以外に法人などにも周知し推進する考えか伺う。

A 令和7年度は、NPO法人をはじめ市民活動団体に周知するためチラシを配布した。今後は生活支援コーディネーターと連携し、ニーズを持つ団体の申請につながるよう支援のあり方を検討したい。

厚生文教分科会

子ども若者支援

事業内容▶ 39歳までの子ども・若者などに対して相談・支援を切れ目なく行うため、こども若者家庭センターを開設。虐待や就労などの相談・支援を行う。

議会の視点 子育てや児童虐待に関する相談、就労など若者相談・支援などの成果について。

Q 相談対応件数は令和6年度と比較し2割強増加の3,725件。このうち相談支援につながった件数は前年度比の約8倍である490件となった。大幅な増加をどのように評価分析しているか。

A こども若者家庭センター開設による組織の対応力強化と周知徹底により、件数が伸びたと考える。また、パルティせとの他の支援機関などと、こども若者家庭センターとの支援が適切につながったことで実績値が伸びたものと考える。

都市活力分科会

都市環境整備基金

事業内容▶ 都市計画事業に関する道路・公園・緑地・下水道などの事業に基金を充てることができる。

議会の視点 令和7年度当該基金に約4億4,000万円を積立て、基金残高が増加している。

Q 都市計画税の繰越金など約4億4,000万円を積立て、残高が約13億円になるが、どのような理由から積立てることになったのか伺う。

A 将来の都市計画事業および土地区画整理事業や都市環境整備に関する施策の財源に充てるために積立てた。

都市活力分科会

水道事業会計

事業内容▶ 水道事業は、安全な水を安定的に供給し、快適な市民生活の根幹を支えるライフラインとして重要な役割を果たしている。

議会の視点 水道事業収益に影響する漏水に係る有収率の改善が図られたのか。

Q 水道事業の成績指標である有収率は、AI衛星画像を使用した漏水分析調査による効率的な対策が施され、90.7%と前年度比2.1%上昇している。それでも、県内平均値には到達していないため、どのような認識なのか伺う。

A まずは90%を超えることを目標に漏水箇所を早期発見し、修繕工事を行うことで有収率が向上した。引き続き、漏水調査などに積極的に取り組み、県内平均値を上回るよう取り組んでいく考えである。



9月定例会の主な議案概要と審査内容

総務生活委員会

第56号議案
瀬戸市デジタルリサーチパークセンター条例の廃止について

概要 23年間運営してきた瀬戸市デジタルリサーチパークセンターを廃止するもの。

Q これまで23年間運用してきて、今後、管理運営や施設更新の費用が増大することが予想されるとある。廃止後の施設はどのようにするつもりなのか、見通しはあるのか伺う。

A 同センターを廃止した後の施設の取り扱いについては未定である。

第59号議案
瀬戸市職員の給与に関する条例の一部改正について

概要 大規模災害時の災害応急作業等手当の日額を改定するもの。

Q 大規模災害時とあるが、どのような規模の災害をいうのか。また、施行日が4月1日となっているが、令和8年熊本地震の災害派遣にも適用されるのか伺う。

A 大規模災害とは、災害対策本部が立ち上がるような災害という規定がされており、7月の令和8年熊本地震にも適用される。

厚生文教委員会

第65号議案
瀬戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

概要 満3歳以上限定小規模保育事業が創設され、特定地域型保育事業（満3歳以上限定小規模事業に限る）に関する基準整備などを行うもの。

Q 条例の一部改正をすることで、選択肢が広がるとのことだが、具体的にどのような効果があるのか伺う。

A 国によると、少人数での保育・育成において、特に配慮が必要な子どもや集団生活を過ごすことを苦手とする子どもにとって、保育体制の選択肢が広がることとなる。また、特に都市部の課題として、土地や場所の制約があり、大きな保育所が造れないところに、小さな保育所を造ることが可能になる。



都市活力委員会

第67号議案
瀬戸市企業立地促進条例の一部改正について

概要 令和9年度以降の市内において事業所の新設または増設を行う企業の新規の指定申請の受付を停止するもの。

Q 奨励事業者の指定に係る申請の受付を停止する理由を伺う。

A 現在、市内に新たに立地が可能な産業用地が極めて少ない状況であることから、事業の見直しを行い、市内既存事業者の再投資の促進や生産性向上に向けた支援への転換を図るため、新たな指定申請の受付を停止するもの。

予算決算委員会 都市活力分科会

第71号議案
令和8年度瀬戸市一般会計補正予算（第5号）

概要 市民や事業者を支援するため、水道事業が行う水道基本料金の減免をさらに2か月分延長するもの。

Q 水道基本料金の減免2か月分延長について、庁内でどのような議論があったか伺う。

A 物価高騰の影響が長期化しており、さらなる支援の検討を行う中で、これまでの水道料金減免の効果や他の支援施策を踏まえ、水道基本料金の減免2か月分延長の補正予算を計上した。

行政視察報告

議会運営委員会では、7月8日～9日、新潟県上越市と埼玉県戸田市へ政務活動費の拡充を目的とした視察を行いました。

両市とも、議員活動に必要な政務活動は、市民の皆さんによりわかりやすく開かれた議会とすることを基本に取り組まれていました。

本市において政務活動費の増額については、議員の政務活動に関する情報をよりわかりやすく開示し、その必要性を理解していただくことが何よりも重要であり、議論の起点であると考えます。それには、支出項目の拡充が必要で、調査研究費、資料購入費、通信費、燃料費、広聴費、広報費など議員活動に必要とされる項目と金額の算定が急務であり早急な検討が必要です。



厚生文教委員会では、委員会を2班に分け、7月14日～15日に宮城県多賀城市と山形県米沢市、7月30日～31日に徳島県徳島市、兵庫県明石市と4つの図書館の視察を行いました。

これらの図書館はそれぞれの特徴もありましたが、共通点も多く見られました。

図書館は市民の学習や読書など、教養を高める場であると同時に、世代を越えて人が集まり、まちのにぎわいを創り出すために、重要な役割を果たす施設でもあります。中心市街地の活性化とまちの誇りを担う拠点として、機能させるべき施設であると考えます。加えて、まちの誇りを担うという部分では、地域の歴史を生かし、まち全体で歴史的な背景を感じられるような工夫をすることで、図書館を核にして、まちへの愛着を育める施設であることも重要な視点です。

もう一つ大切なこととして、市民と一緒になって、時代や市民ニーズに素早く対応しながら、決して飽きられない、常に進化する図書館として、育て続けることが重要であるという考え方も見逃してはならない大切な視点です。



総務生活委員会では、6月30日～7月1日に大阪府の豊中市と松原市を視察しました。

豊中市では、歳入確保を財政部門だけでなく全庁で取り組む経営課題と位置付け、各部署による財源確保策の提案・検証や、安全性を最優先とした基金運用の仕組みを学びました。

松原市では、企業版ふるさと納税を移住・定住、文化芸術、スポーツなどの施策に活用。令和6年度の寄附額は1億7,900万円に達し、支援事業による令和7年度の転入者は500人となりました。

両市の取り組みを参考に、本市でも自主財源の確保を地域課題の解決や魅力あるまちづくりにつなげたいと考えます。



都市活力委員会では、7月30日～31日、広島県東広島市は「JR西高屋駅周辺整備について」、広島県水道広域連合企業団は「水道事業の広域化連携について」を視察しました。

東広島市の西高屋駅周辺は老朽化した空き家が増加するという課題がありました。この解決のために学生や地域住民から声があがり、JRも協力しながら再整備に乗り出しました。図書館を新設するなど交通利便性を高めながら、にぎわいの創出を図っています。

広島県水道広域連合企業団は、令和5年4月に県内14市町の水道事業などを統合・継承し、経営の一本化を開始しました。広域化のメリットは、水道事業の経営基盤が強化され、国庫補助金が大幅に増額し、企業団の黒字が確保されたことです。それに伴い、各自治体が負担するお金が大きく減少しています。

本市の水道事業広域化については、自己水を含めた将来のあり方を慎重に見極めることが必要です。広域化は単に経費削減の手法ではなく、安全・安心な水道を将来世代へと確実に引き継ぐための水道事業の持続可能な経営改革につながることが大切な視点です。



９月定例会議案等審議結果

■市長提出議案

議案番号	件名	議決結果
第55号議案	瀬戸市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第56号議案	瀬戸市デジタルリサーチパークセンター条例の廃止について	可決（賛成多数）
第57号議案	瀬戸市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び瀬戸市の議会の議員及び長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第58号議案	瀬戸市「財政事情」の作成及び公表に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第59号議案	瀬戸市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第60号議案	瀬戸市旅費条例の一部改正について	可決（全会一致）
第61号議案	瀬戸市職員の退職年金等に関する条例の臨時特例の一部を改正する条例及び瀬戸市職員の退職年金等に関する条例の臨時特例等の一部を改正する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第62号議案	瀬戸市消防団条例の一部改正について	可決（全会一致）
第63号議案	瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第64号議案	瀬戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第65号議案	瀬戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第66号議案	瀬戸市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第67号議案	瀬戸市企業立地促進条例の一部改正について	可決（全会一致）
第68号議案	瀬戸市駐車場条例の一部改正について	可決（全会一致）
第69号議案	市道路線の認定について	可決（全会一致）
第70号議案	瀬戸市水道事業の設置等に関する条例及び瀬戸市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第71号議案	令和8年度瀬戸市一般会計補正予算（第5号）	可決（全会一致）
第72号議案	令和8年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第73号議案	令和8年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第74号議案	令和8年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第75号議案	令和8年度瀬戸市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第76号議案	令和8年度瀬戸市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第77号議案	交通事故に係る損害賠償の額の決定について	可決（全会一致）
第78号議案	令和8年度瀬戸市一般会計補正予算（第6号）	可決（全会一致）
第79号議案	令和8年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
認定第１号	令和7年度瀬戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成多数）
認定第２号	令和7年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成多数）
認定第３号	令和7年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認定第４号	令和7年度瀬戸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成多数）
認定第５号	令和7年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成多数）
認定第６号	令和7年度瀬戸市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定（賛成多数）
認定第７号	令和7年度瀬戸市下水道事業会計決算の認定について	認定（賛成多数）
同意第15号	瀬戸市教育委員会委員の任命について	同意（全会一致）
同意第16号	瀬戸市公平委員会委員の選任について	同意（全会一致）
同意第17号	瀬戸市監査委員の選任について	同意（全会一致）

■議員提出議案

議案番号	件名	議決結果
第５号議案	瀬戸市議会会議規則の一部改正について	可決（全会一致）

各議員の議案に対する賛否の状況

左記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

議案番号＼議員名	自民新政クラブ 黒柳知世	自民新政クラブ 颯田季央	自民新政クラブ 山内精一郎	自民新政クラブ 朝井賢次	自民新政クラブ 髙島淳	自民新政クラブ 西本潤	自民新政クラブ 小澤勝	自民新政クラブ 宮薗伸仁	自民新政クラブ 冨田宗一	自民新政クラブ 柴田利勝	自民新政クラブ 三木雪実	公明党瀬戸市議団 三宅聡	公明党瀬戸市議団 池田信子	公明党瀬戸市議団 長江秀幸	日本共産党瀬戸市議団 原誠	日本共産党瀬戸市議団 新井亜由美	日本共産党瀬戸市議団 浅井寿美	市民の声 中川昌也	市民の声 戸田由久	市民の声 臼井淳	新風せとと無所属の会 松原大介	新風せとと無所属の会 馬嶋みゆき	無会派 長江公夫	無会派 石神栄治	無会派 髙桑茂樹	無会派 伊藤賢二
第56号議案	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第63号議案	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第１号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第２号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第４号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第５号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第６号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第７号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【○】は賛成　【×】は反対　議員名は左より会派ごとの議席順に記載。なお、髙島淳議員は議長職のため、採決には加わりません。



いいもんせともん議会を開催しました！

9月定例会では、本会議初日（8月31日）を「いいもんせともん議会」と称し、開催しました。議場に集った議員と職員が、市のロゴが入ったおそろいのポロシャツを着用して本会議にのぞみました。これは9月に行われる「せともの祭」や「招き猫まつり」を議会からもPRし、瀬戸を盛り上げていくとの趣旨で、数年前から実施しているものです。このことから、議長席に両方のお祭りのパネルと招き猫の置き物を、議場前には市のPRコーナーを設置しました。



「せとまちトーク」～市民と議会の意見交換会～を開催しました!!

テーマごとに分かれてグループワークを行いました。さらにフリーテーマで参加者の皆さんが考える課題の原因と、その解決策やアイデアをお聞かせいただきました。皆さんからいただいたたくさんのご意見を、担当委員会で検討し、市民の皆さんがより住みやすいと実感できる瀬戸市につなげていきます。



日時

7月23日（木）午後7時～8時30分▶文化センター　文化交流室31会議室
7月26日（日）午前10時～11時30分▶やすらぎ会館　5階大集会室

総務生活委員会のテーマ　❶人口増やして税収アップ！
～集まれ！瀬戸ファン！瀬戸の「推し」＆おすすめを教えてください～

厚生文教委員会のテーマ　❷未来の図書館について
～にぎわいの中心となる図書館を一緒に考えよう～

都市活力委員会のテーマ　❸中心拠点の活性化
～尾張瀬戸駅・新瀬戸駅を中心に「にぎわい」のある市民が憩い集える広場に～

※せとまちトークについては、令和8年12月定例会号（令和9年2月号）にてくわしく報告します。

一般質問

市の行政課題などについて14人の議員が考え方や内容を質問しました。
質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

会議の様子は会議録や録画映像でご覧になれます。

Q 市議の質問
A 市の回答



市長の4年間の総括と今後の市政運営について



自民 新政クラブ
柴田 利勝

Q 市長は前回の選挙において、「すべての市民のために偏らない市政を実現する」と掲げられ、市民の期待を集めて当選された。これまでの行政運営の実績と成果および今後の市政について、また、次期市長選に出馬する考えがあるか伺う。

A これまでの市政運営を振り返ると、市民への約束であるゴミ袋値上げ凍結や、18歳までの医療費無料化など6つの公約を実現するために全力で取り組み、概ね達成できた。これらを踏まえ、現在策定している次期将来計画を実行し、残された諸課題の解決に向けて、引き続き市長としての責務を果たしていきたい。

受援計画への反映について



公明党 瀬戸市議団
三宅 聡

Q 令和8年熊本地震において、被災地へ職員を派遣した際に得られた知見や、防災訓練の検証で明らかになった課題を、受援計画へ反映する仕組みがあるのか伺う。

A 被災地で派遣職員が経験した教訓や、受援の手続きを実際に経験したことは、本市の防災対応力の強化につながるものと考える。また、防災訓練の検証で明らかになった課題を解決する、その積み重ねも災害対応の強化につながるため、毎年、地域防災計画や受援計画の見直しを繰り返し、計画に反映していく。

（防災安全課）

デジタル教材の使用時間と使い方について



日本共産党 瀬戸市議団
原 誠

Q 授業中および家庭学習におけるタブレット端末やデジタル教材の使用時間や使い方について、本市として共通のガイドラインや目安を設ける考えがあるか伺う。

A 本市ではタブレットを使う時のルールを定めており、正しい姿勢や画面との距離に注意し、30分に一度を目安に目を休めるよう指導している。授業では紙の教材や話し合いなど多様な学習活動を組み合わせているので、一律の総使用時間を設けることは考えていないが、引き続き長時間の連続使用とならないよう配慮していく。

（教育政策課）

交通弱者の日常生活を守るため公共交通の充実を



日本共産党 瀬戸市議団
浅井 寿美

Q 国は全国の「交通空白」解消を目指し、2025年度～2027年度を集中期間と定め取り組んでいる。本市の主な「交通空白」地域の一つである水南連区を含め、中心市街地周辺でも道が狭く急坂の多い地域が存在している。定時運行のバス路線が難しい地域には、デマンド交通などの導入で、障害者や免許返納後の高齢者の暮らしを支える必要があると考えるが見解を伺う。

A 地域ごとで課題や要望は異なるため、今後デマンド運行をしてほしいなどの要望があれば、地域に合わせた効果的な運行方法を自治会や運行協議会と協議していく。

（都市計画課）

大規模地震災害時における車中泊避難について



新風せと 無所属の会
馬嶋 みゆき

Q 車中泊避難者の分散は食料などの物資、情報の提供や健康支援などの公的支援が届きにくい。本市では避難場所にグラウンドを想定しているが運営やルールをどう定めているか伺う。

A 現在、車中泊避難に対する避難所敷地内への車両侵入経路・駐車位置・安全管理などについて具体的な定めを設けていない。今後はグラウンドも含めた円滑な避難所運営、施設ごとのルールや車中泊避難のあり方を整理する。また、自治連合会の防火防災部会、自主防災リーダー研修会などでは早急に各避難所グラウンドの使用方法などについて検討をスタートさせたい。

（防災安全課）

消防広域化の決定を急ぎ、消防新庁舎建設を進めるべき



新風せと 無所属の会
松原 大介

Q 消防新庁舎建設について、広域化によって国の財政措置を受けられるかどうかは大きな焦点であるものの、「消防」という機能維持のためには消防新庁舎建設はこれ以上、先送りできるものではないと考える。広域化の結論が決まり次第、広域化の実施の有無に関わらず、消防新庁舎建設へ向けた予算計上は必要と考えるが見解を伺う。

A 消防新庁舎建設については、広域化の実施の有無に関わらず、予算措置を検討していく必要があると考えている。

（消防総務課）

中日ドラゴンズ２軍本拠地誘致を契機とした新たなまちづくりについて



自民 新政クラブ
山内 精一郎

Q 中日ドラゴンズ2軍本拠地誘致を1つの契機として、市長は10年後、20年後の本市をどのようなまちにしたいのか、その未来像を伺う。

A 本市はこれまでも伝統を大切にしながらも、新しい挑戦を繰り返して発展してきたまちである。これからも、多様な発想や価値観を柔軟に取り入れて、常に新しい変化を起こし続けることにより、市民の皆さまをはじめ、多くの方々にとって魅力あふれるまち・選ばれるまちにしたいと考える。なお、中日ドラゴンズ2軍誘致が実現できた暁には、昇龍のごとく、さらに力強いまちになるものと信じている。（政策推進課）

管理不全な民有地（空き地・空き家など）への対応について



公明党 瀬戸市議団
池田 信子

Q 民有地の所有者が不明である場合や、管理を依頼しても改善されない場合には、どのように対応しているのか。また、市民生活への影響が大きい事案について、関係部署はどのように連携しているのか伺う。

A 所有者が不明な場合や管理をお願いしても改善されない場合は、無料の法律相談や裁判外紛争解決手続の認証制度である解決サポートなどの窓口を案内し、個別に相談をお願いしている。また、道路へ張り出している草木については通行の支障が生じるなど、市民生活への影響が大きい場合には、関係部署に情報共有し、連携して対応している。（環境課）

令和8年熊本地震を踏まえて



無会派
髙桑 茂樹

Q 市内で「震度5弱」以上の地震が発生した際に、安否確認を行うための安否札などを自宅前に掲げることになっている。自治会ごとに防災訓練などで周知する必要があると考えるが、その状況と課題について伺う。

A 南海トラフ地震だけでなく、市内で「震度5弱」以上が観測された場合に安否札などを掲げることについては、自治会の加入有無に関わらず、隣近所で助けあう共助の観点から重要であるが、自治会未加入者の世帯に対する周知が行き届かないことが課題と考えている。11月に実施される総合防災訓練に向けて、様々な媒体を利用して周知啓発を図っていく。
（防災安全課）

民生委員・児童委員の担い手不足について



公明党
瀬戸市議団
長江 秀幸

Q 持続可能な民生委員制度にするには、「チーム制」への転換、働いている人も会議に参加しやすいよう、委員にタブレット端末を配布してオンラインで開催するなど、工夫も必要になってくると考えるが、見解を伺う。

A チーム制への転換やタブレット端末を活用したオンライン会議などの取り組みは、民生委員の負担軽減や民生委員制度の持続性確保などにつながる有効な手法の一つであると認識している。本市の実情に合った活動支援となるよう、適宜、民生委員児童委員協議会と協議しながら、国の動向や先進自治体の事例を注視していきたい。（社会福祉課）

財政白書の作成で市民に分かりやすく「お金のこと」を知らせる



日本共産党
瀬戸市議団
新井 亜由美

Q 市民から「瀬戸市はお金がない」という声や、市に要望を伝えたが「財政的に厳しいと言われた」という声を聞く。自治体の財政状況は単純に「お金がある・お金がない」という表現で表せるものではないため、市民に分かりやすい言葉で現在と将来の財政状況について見解を伺う。

A 現在の財政は健全性が保たれている。一方、増え続ける財政需要に対応するために収支不足が拡大し、基金（貯金）は減少し、市債（借金）は増加する見通しである。将来的には、財政の柔軟性が低下し、必要な行政サービスや事業に使える財源の確保が難しくなり、財政の健全性を示す指標の悪化が見込まれている。
（財政課）

学校給食施設の整備について



自民
新政クラブ
朝井 賢次

Q 施設整備後に想定される運営費削減効果は、地元食材を使った日本一おいしい学校給食を目指すうえで有効なプロセスと考える。新たな給食センター整備の議論は様々ある本市の課題の中で、優先順位を上げていくべきと考えるが市の見解を伺う。

A 本市においては給食センター以外にも老朽化した施設が多く、公共施設等総合管理計画に基づき取り組んでいる。新たな給食センターの整備については、給食施設が抱える多くの課題を解決するとともに、よりおいしい給食を実現できる効果が高い事業であると認識しており、早期の対応が必要と考えている。
（教育政策課）

いくつになっても自宅で暮らせる地域の機能を守る



自民
新政クラブ
颯田 季央

Q 後期高齢者数が平成30年度と比べて約1.2倍になる中、介護が必要になる人も増えていくと予測される。そのため、介護予防・日常生活支援総合事業の入口を担う地域包括支援センターの事業の見直し、人員確保・実施のための増額が戦略として必要であり、他市との比較も踏まえた見解を伺う。

A 地域包括支援センターの事業については、ケアマネジメント業務の負担軽減など、センターが正常に機能するよう事業の見直しを行う。委託料については、地域包括支援センター1か所当たりで比較すると、近隣市より1,200万円ほど低い水準となっているので、必要な予算を確保できるよう努める。
（高齢者福祉課）

市は自治会からの産廃計画個別説明会の要望に対応すべきではないのか



市民の声
臼井 淳

Q 産廃事業者が市産廃紛争予防調整条例の運用範囲や条例第9条第2項の「正当な理由」を独自に判断しているが、市は条例の解釈をどのように捉えているのか。また、条例第9条第1項の規定について、10月10日に文化センターで合同説明会を開催すれば、この規定を満たすと考えているのか伺う。

A 市条例の解釈・運用は本市が担うものと認識しており、「正当な理由」については事業者が独自に決めるものではない。また、10月10日の合同説明会については、説明会の内容が適切に履行されているかを含めて総合的に確認し、適切に判断する必要があると考えている。
（環境課）

3市議員研修会



尾張旭・長久手・瀬戸の3市議員研修会が、7月16日長久手市文化の家で開催されました。今年は「SNSネット時代の子ども達のリアル～私達大人ができること～」をテーマに一般社団法人ウーマンキッズ・ラボ代表理事の向田邦江氏にご講演をいただきました。AIなど日進月歩で進化するSNSの世界の現状と、そこに引き込まれいやおうなく好ましくない道に踏みこまれる子ども達。それに対して大人達に何ができるのか、どう対処したらよいのかを伺いました。講演後、3市議員で情報交換をいたしました。

今号の表紙について



窯神橋の由来

大正11年（1922年）11月16日、窯神神社の社殿改築記念祭典が実施され、この日にあわせて瀬戸川に新しく窯神橋が竣工し、渡り初めの式典が挙行された。

瀬戸公園が開園し、陶祖加藤藤四郎だけでなく磁器の製法を瀬戸に伝えた加藤民吉の顕彰を行おうという機運が高まり、大正天皇の大礼記念行事がきっかけとなって、記念碑建立に動き出した。愛知県では、記念事業として県内の名所史跡に記念標柱を建立していった。その一環として、民吉の業績を顕彰するために記念碑を建立するとともに、毎年9月16日に祭典を実施することを決議した。

橋梁は戦後再築され、さらに瀬戸川文化プロムナード線整備、瀬戸川河川整備事業に伴う橋梁改築により、交通機能の更新と「せともの文化」のイメージを高める整備を図るものとして、橋長22.5m、全幅員41mの橋梁が3年かけて整備され、2005年日本国際博覧会開催時には瀬戸の玄関口としての役割を果たした。

平成27年1月、瀬戸染付焼きが全体にあしらわれた親柱が完成し、染付による橋名板は書道家の故・柴田恵水氏が揮毫（きごう）したもの。

令和８年熊本地震義援金

７月28日に起きた令和8年熊本地震の被害に遭われた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

瀬戸市議会では、被災された皆さまの支援および被災地の復旧・復興に役立てていただくため、九州市議会議長会を通じて、義援金として30万円を寄付しました。

瀬戸市議会議員一同、被災地の一日も早い復興を祈念しております。

テレビ番組

グリーンシティコムそらまめチャンネル
「こんにちは！瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

9月定例会の番組内容は「わたしのまちの議会を知ろう！」や「9月定例会の結果報告」などについて、10月26日(月)～11月1日(日)にお送りしました。

次回放送予定 令和9年1月25日(月)～1月31日(日)

放送時間 7:40～、9:40～、12:40～、14:40～、18:40～、22:40～

番組がご覧になれます。



ラジオ番組

RADIO SANQ「せとまちradio!」(FM84.5MHz)

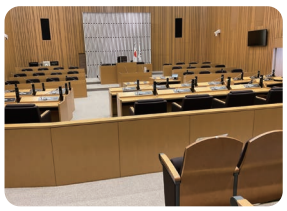
放送の前半は定例会のお知らせ、後半では「わたしの好きなせと」について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。

次回放送予定 11月30日(月)、令和9年1月4日(月)

放送時間 9:20～

RADIO SANQホームページから過去の放送分もお聴きいただけます。





傍　聴

傍聴をご希望の方は、北庁舎5階の議会事務局にお越しください。

インターネット中継

会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも！

12月定例会開催予定

11月26日(木) 本会議（開会・議案上程・説明）
12月　1日(火) 本会議（一般質問）
　　2日(水) 本会議（一般質問）
　　3日(木) 本会議（一般質問・議案質疑・委員会付託）
　　4日(金) 本会議（一般質問・議案質疑・委員会付託）、予算決算委員会
　　8日(火) 総務生活委員会、予算決算委員会総務生活分科会
　　9日(水) 厚生文教委員会、予算決算委員会厚生文教分科会
　　10日(木) 都市活力委員会、予算決算委員会都市活力分科会
　　15日(火) 予算決算委員会、議会運営委員会
　　17日(木) 議会運営委員会
　　18日(金) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が変更される場合があります。
※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。
※請願・陳情の提出締切は、11月16日(月)の午後4時です。
※市役所窓口受付時間変更に伴い、議会の会議時間も午後4時を目途に終了いたします。

編集後記

9月定例会は、前年度決算を承認するか否かの審査が行われました。この審査は来年度の予算を組み立てるに当たっても重要な参考資料となるため、気持ちを込めた審査が繰り広げられました。その一端を分かりやすくお届けいたします。

ご意見・ご感想はこちらから

問合せ先／議会事務局 議事課（市役所5階）☎88・2740
メール▶giji@city.seto.lg.jp
編集・発行／瀬戸市議会　〒489-8701 瀬戸市追分町64-1

瀬戸市議会ホームページ
SNS、YouTubeをcheck！

アプリでも議会だよりをcheck！
マイ広報紙　マチイロ